

「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」

1 序文

- 持続可能な開発の重要分野: 人間(People)、地球(Planet)、繁栄(Prosperity)、平和(Peace)、連帯(Partnership)の「5つのP」。

2 政治宣言

- 包括的で人間中心のゴールとターゲットを決定。2030年までに完全に実施する。誰一人取り残さない。
- 先進国にも途上国にも等しく適用されるユニバーサルなゴールとターゲット。
- ミレニアム開発目標を基礎に、同じ目標で達成できなかったことの達成を追求。
- ODA数値目標(0.7%目標及びLDC向け0.15～0.20%目標)を再確認。ODAは他の開発資金の触媒。

3 持続可能な開発目標(SDGs: 17ゴール(下記)、169ターゲット)

- ①貧困の撲滅 ②飢餓撲滅、食料安全保障、③保健・福祉、④万人への質の高い教育、生涯学習、
- ⑤ジェンダー平等、女性の能力強化、⑥水・衛生の利用可能性、⑦エネルギーへのアクセス、
- ⑧包摂的で持続可能な経済成長、雇用、⑨強靱なインフラ、工業化・イノベーション、⑩国内と国家間の不平等削減、
- ⑪持続可能な都市、⑫持続可能な消費と生産、⑬気候変動への対処、⑭海洋と海洋資源の保全・持続可能な使用、
- ⑮生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性、⑯平和で包摂的な社会の促進、
- ⑰実施手段(MOI)の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化

4 実施手段(MOI: Means of Implementation)

- 政府、市民社会、民間セクター、国連機関等、全てのアクターが利用可能な資源を活用し、グローバル・パートナーシップの下でゴールとターゲットの実施にあたる。
- 持続可能な開発を支援するために、技術移転促進メカニズムを立ち上げる。

5 フォローアップ・レビュー(FUR)

- FURは、自主的、国主導、包摂的で透明、人間中心、既存の仕組みを活用、実証ベースであるものとする。
- グローバル指標は、2016年3月の国連統計委員会で合意され、国連経済社会理事会及び国連総会で採択予定。